

# TSUNAGARI 通信

Vol.7 一般社団法人つながり

発行//11月2日



昨年のネパール大地震から始まった学校再建活動。雨季や大規模なお祭りなどにより完成は12月まで延期になってしまいましたが、10月21日に開校式を行なってきました。当日は村中の人々や有名歌手、元文部大臣など様々な方々が集まり、朝の11時から夕方17時の終わりまで大盛況のセレモニーとなりました。

司会進行の先生のもと、式が流れてゆきました。

まずは生徒による日本人を歓迎する踊りを見させていただき、それから来賓の方々の挨拶があり、当団体の代表による祝辞・お礼の挨拶。最後は日本唱歌「ふるさと」をみんなで合唱しました。

崩壊前の学校は国指定の耐震構造の造りではなかった為に地震の揺れに耐える事が出来ませんでした。私達が今回造らせてもらった学校は、国指定のしっかりとした耐震構造を備えた造りのものにしました。

学校の壁には日本とネパールとの架け橋になるようにとの想いを込めた絵を日本の絵本作家の方に描いてもらいました。またカトマンズにある孤児院の子供たちの要望に応え孤児院内に勉強部屋をつくり、そこの外壁にも子供たちの手形をいれた絵を描いてもらいました。

どちらの子供たちも目がキラキラと輝いており、そこに未来にむかって生きていく優しさと強さを見た気がしました。ここまでの事を成し遂げられたのは、応援してくださった沢山の方がいてくれたおかげです。これからも活動は続きますが、どうぞ変わらず応援・協力よろしくお願いします。

「平成28年熊本地震」つながり緊急支援活動は10月16日をもって規模縮小し、6か月間毎日の活動を終了いたしました。

16日は御船町で開催された感動祭に招待され御船町町長から代表の勝又三成が感謝状と花束をいただき、ブースでこれまでの熊本での活動の様子を展示させていただきました。ブースには地元の方が次々と訪れてくれ中にはボランティア依頼を受けた方もたくさんおられ、感謝の言葉も頂くことが出来ました。まだ震災による爪痕は色濃く残っていますが、少なくともこの日だけは皆さんの表情は晴れ晴れとしたものでした。半年間もの間ずっと活動を続ける事が出来たのは、御船町の町長をはじめ地元の方、全国各地から応援してくださったからこそです。活動規模は縮小されますが11月末までは地元の高校生を中心に活動を行ないます。まだまだ人の手を必要としている方はいます。ボランティア参加も随時受付しています。また台風10号により被害をうけた岩手県でも同時に活動をしていますので、そちらへのボランティア参加もよろしく願います。今年は鳥取県での地震もあり災害の多い年ですが、少しでも早く被災された方が安心できるような活動を心がけていきます。

～～御船町活動記録～～  
ボランティア延べ人数 4,372名  
活動総件数 758件

